

レコードプレーヤー／ラジオ＋メディアレコーダー

ティールーム デュアル

商品型番：**TRM-109W**



このたびは「レコードプレーヤー／ラジオ＋メディアレコーダー」をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。  
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

目次

- |           |     |              |       |
|-----------|-----|--------------|-------|
| ●安全上のご注意  | 2   | ●メディアレコーダー   | 10～11 |
| ●セット内容    | 3   | ●MP3ファイルを聴く  | 11～12 |
| ●主な仕様     | 3   | ●音声出力        | 13    |
| ●各部のなまえ   | 4、5 | ●お手入れについて    | 14    |
| ●ご使用前の準備  | 6   | ●故障かな？と思ったら  | 15    |
| ●レコードを聴く  | 7、8 | ●保証とアフターサービス | 16    |
| ●FMラジオを聴く | 9   |              |       |

## 安全上のご注意

※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために「警告」と「注意」の2つに区分しています。

- 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**
- △ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
  - ⊘ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
  - の記号は「しなければならない行為（強制事項）」を示します。

### 警告

**交流100V以外で使用しない**  
表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧では使用しないでください。火災・故障の原因になります。

**雷が近づいたらACアダプタをコンセントから抜く**  
落雷の恐れがあります。

**ACアダプタ、コードを傷つけない**  
無理な使いかたをするとACアダプタ、コードが破損しますので次のようなことはしないでください。○重いものを乗せる。○途中でつぎ足したりなどの加工する。○無理に折り曲げる。○傷をつける。○ねじったり、引っ張ったりする。○熱器具に近づける。○電源コードを束ねたまま使用する。

**分解・修理・改造はしない**  
火災・故障の原因になります。また保証期間内であっても保証の対象外となります。

**水に濡らさない**  
本機を濡らしたり、水につけないでください。ショート・感電の原因となります。

**内部に異物を入れない**  
内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものをいれないでください。火災・故障や感電の原因となります。

**濡れた手でACアダプタ、電源プラグを抜き差ししない**  
感電やけが、火災の原因となります。

**異常・故障、破損時には、すぐに使用を中止する**  
そのまま使用すると火災等の原因となります。お買上げの販売店、または発売元に点検修理を依頼してください(有料)。

### 注意

**温度の異常に高い場所で使用しない**  
火災・故障の原因になることがあります。

**調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない**  
火災・感電・故障の原因になることがあります。

**駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない**  
樹脂部品の変形の原因になります。

**ACアダプタをコンセントから抜く**  
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。

**ぐらついた台や傾いた所に置かない**  
落下し、ケガ・故障の原因になります。

**ACアダプタは付属のもの以外を使用しない**  
故障の原因になります。

**付属のACアダプタを他の機器に使用しない**  
故障の原因になります。

**ヘッドホンの音量を上げ過ぎない**  
聴力障害などの原因になります。

## セット内容

※箱を開けたら以下のセット内容を必ず確認してください。

- TRM-109W本体
- ACアダプタ
- 取扱説明書(保証書付/本誌)
- ドーナツ盤用アダプタ ※本体上面レコードプレーヤー部に収納してあります

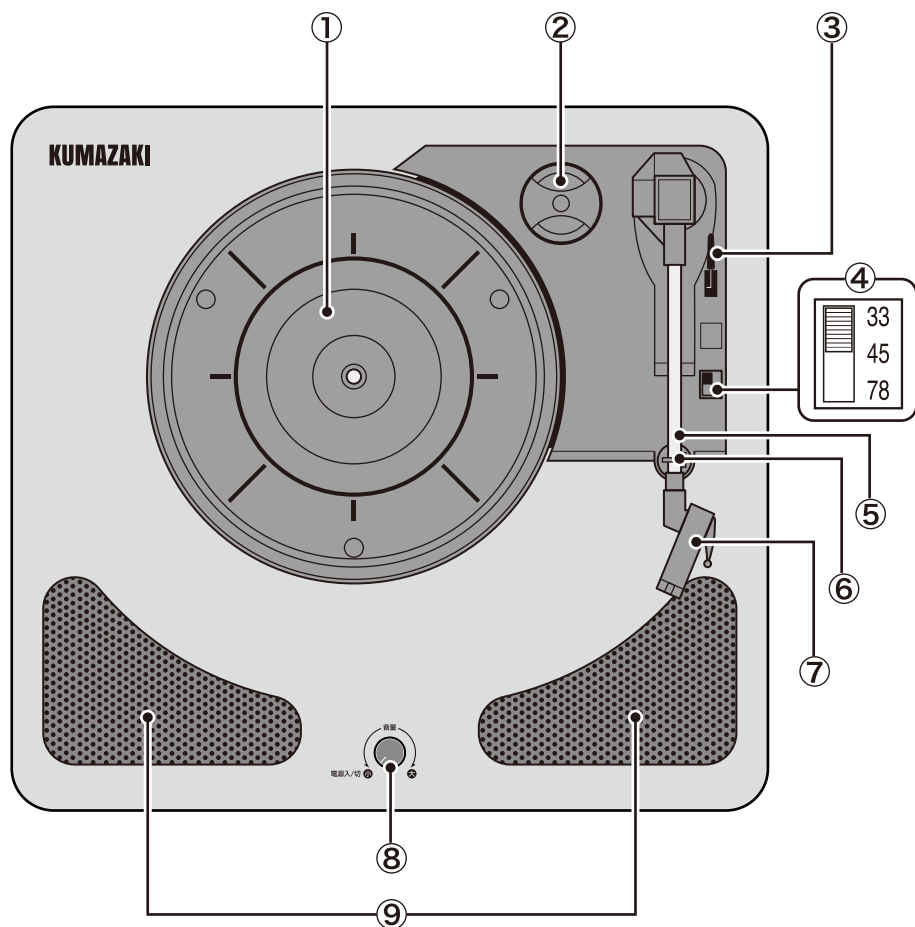
## 主な仕様

製品共通	電源	AC100V 50/60Hz
	消費電力	12 W
	外形寸法(約)	幅：360 × 高：115 × 奥：335 mm
	質量(約)	2.4 kg
	出力端子	ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニ 音声：RCAピン
	入力端子	SD/SDHCカードスロット USB：TYPE-A
	スピーカー出力	3 W + 3 W
レコードプレーヤー	FMラジオアンテナ	コードアンテナ
	回転速度	33⅓、45、78 rpm
	駆動方式	ベルトドライブ
ラジオ	レコード針	使用可能時間：200時間 材質：サファイア
	受信バンド	FM
メディアレコーダープレーヤー	受信可能周波数	76~108 MHz
	対応メディア	SD/SDHCカード、USBメモリ
	ディスク容量	32 GB (最大)
	録音ファイルフォーマット	MP3 / 128 kbps
ACアダプタ	再生ファイルフォーマット	MP3 / 64 - 320 kbps
	定格入力	AC100-240V 50/60Hz 0.5A Max
	定格出力	DC12V 1.5A
	コード長(約)	1500 mm

※SD/SDHCカードおよびUSBメモリのデータの録音/再生は、製造メーカー、ディスクの品質、記録状態、録音環境により正しく動作できない場合があります。 ※本機のUSB端子は「USB3.1」には対応していません。 ※製品の仕様は性能向上等の理由から予告無く変更する場合がございます。

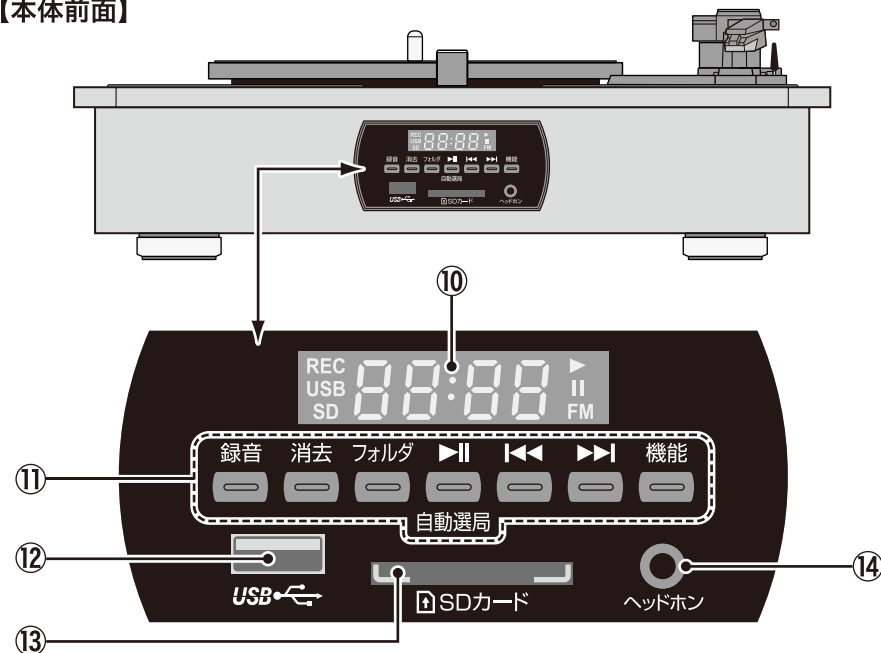
# 各部のなまえ

【本体上面】



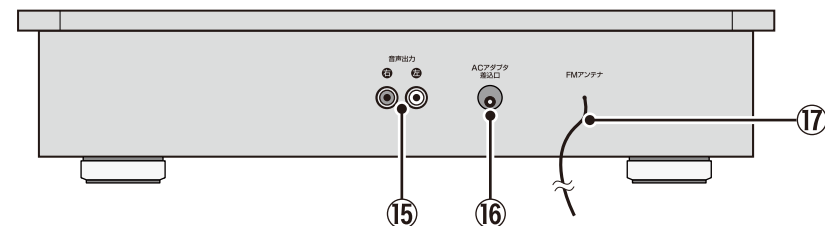
- ①ターンテーブル    ②ドーナツ盤用アダプタ    ③リフトレバー
- ④回転数切替スイッチ    ⑤トーンアーム    ⑥アームレスト
- ⑦ヘッドシェル    ⑧電源入切/音量調整ツマミ    ⑨スピーカー

【本体前面】



- ⑩液晶表示部    ⑪操作ボタン※左から：①録音    ②消去    ③フォルダ選択
- ④再生/一時停止/自動選局    ⑤前スキップ    ⑥次スキップ    ⑦機能切替
- ⑫USB差込口    ⑬SDカードスロット    ⑭ヘッドホン出力端子

【本体背面】



- ⑮音声出力端子    ⑯ACアダプタ差込口    ⑰FMラジオアンテナ

## ○ ご使用前の準備

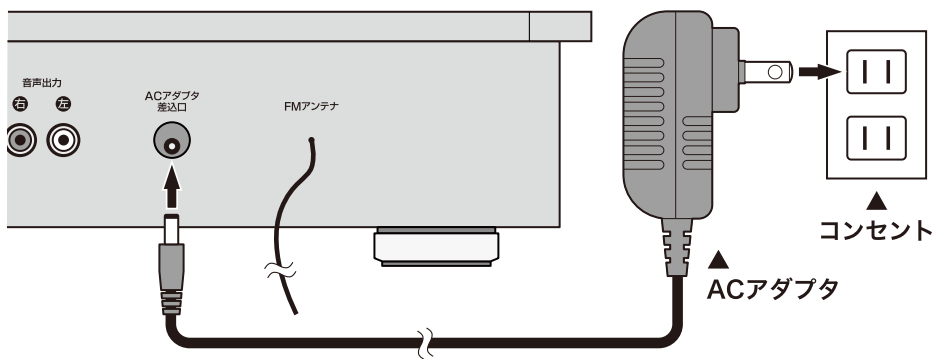
### ■ 設置する

本体を箱から取り出し、硬く平らな安定した場所に置きます。

- △ 本体が傾いていると、音がはずんだり⑤アームがレコード盤の上をすべる原因となります。
- △ 本体に振動が伝わると、音が飛んだり、音が震える、ハウリング等の原因となります。

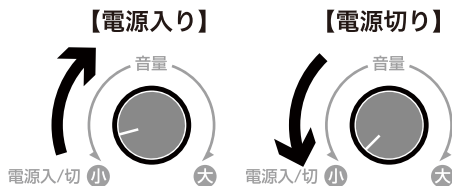
### ■ 電源の準備

- 1 付属のACアダプタのコード先端の端子を、本体背面⑩ACアダプ差込口に差し込みます。
- 2 コンセントにACアダプタのプラグを差し込みます。



### ■ 電源の入り切り

- 1 本体上面の⑧電源入切ツマミを時計回りに「カチッ」と音がするまで回すと電源が入り、⑩液晶表示部が点灯します。
- 2 ⑧電源入切ツマミを時計と逆回りに「カチッ」と音がするまで回すと電源が切れ、⑩液晶表示部が消灯します。

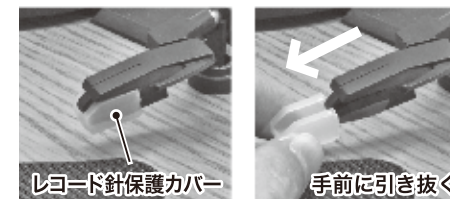


## ○ レコードを聴く

### ■ はじめてのご使用前に

- 1 ⑤トーンアームを固定しているワイヤーバンドを外します。
- 2 ⑤トーンアーム先端の⑦ヘッドシェルに付いているレコード針保護カバーを手前に引き抜き外します。

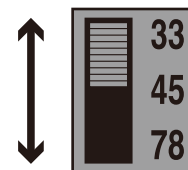
#### ●レコード針保護カバーを外す



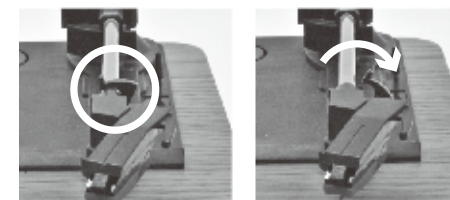
### ■ レコードを聴く

- 1 ④回転数切替スイッチをスライドさせ、再生するレコード盤の回転数と合わせます。
- 2 ①ターンテーブルにレコードを置きます。
- 3 ⑥アームレストの固定用のツメを外側に押し、⑤トーンアームのロックを解除します。
- 4 本体前面の⑦機能切替ボタンを数回押してレコードに切替ます。この時⑩液晶表示部右下に「PH」と表示されます。
- 5 ③リフトレバーを奥側に倒すと⑤トーンアームが上がります。
- 6 ⑦ヘッドシェルのツマミを持ち、⑤トーンアームをゆっくりと①ターンテーブル側に動かすと、①ターンテーブルが回り始めます。

#### ④回転数切替スイッチ



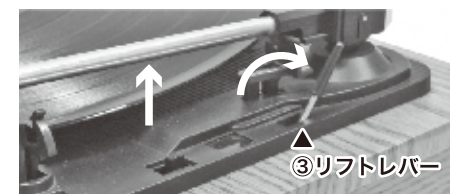
#### ●⑤トーンアームのロック解除



#### ⑩液晶表示部：レコード選択時



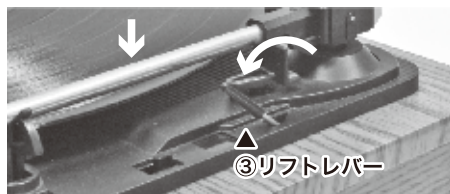
#### ●⑤トーンアームを上げる



## ○レコードを聴く

- ⑦ヘッドシェルをレコード盤の再生を開始したい位置に合わせ、③リフトレバーを前側に倒すと、針がレコード盤の上に下り、レコードが再生します。
- ⑩音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。

### ●⑤トーンアームを下げる



- 再生を終了する場合は、③リフトレバーを奥側に倒して⑤トーンアームを上げます。

△レコードは自動で停止しません。

- ⑤トーンアームを⑥アームレストの位置に戻し、③リフトレバーを前側に倒します。

## ■ドーナツ盤用アダプタについて

ドーナツ盤等、真ん中の穴の大きなシングル・レコードを再生する場合は、付属の②ドーナツ盤用アダプタを使用してください。



- △ご使用の前に必ず再生するレコード盤の回転数をお確かめください。
- △レコード盤のゆがみにより音飛び等、上手く再生しない場合があります。
- △レコード盤をターンテーブルに長時間放置しないでください。

## ○FMラジオを聴く

### ■ラジオに切り替える

- 本体前面の⑦機能切替ボタンを数回押します。
- ⑩液晶表示部右下に「FM」と表示された後、周波数が三桁の数字で表示されます。  
※小数点は表示されません。



⑩液晶表示部：周波数



### ■自動受信をする

- 本体前面の④自動選局ボタンを3秒ほど長押しします。
- 周波数の数字が動きだし、受信したラジオ局を自動で登録します。登録されるたびに登録番号が表示されます。
- すべての周波数帯域の読み込みが終わると、最初に登録されたラジオ局に戻り、⑨スピーカーから番組が流れます。



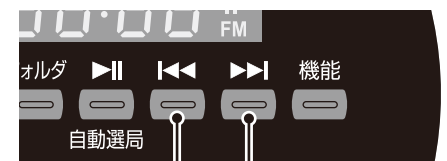
④自動選局ボタン

⑩液晶表示部：登録番号



### ■登録された放送局を選ぶ

- ⑥次スキップボタンを押すと、次の登録されたラジオ局に進み、⑤前スキップボタンを押すと、前に戻ります。登録番号が表示された後、周波数が表示されます。



⑥次スキップボタン  
⑤前スキップボタン

- △本製品で受信出来るバンドはFMのみです。AMバンドは受信出来ません。  
※ワイドFMに対応したいくつかのAM局は受信出来ます。
- △本製品では手動での受信周波数の微調整は出来ません。
- △上手く受信出来ない場合は、アンテナを伸ばしたり、受信しやすい場所に移動するなどして調整してください。



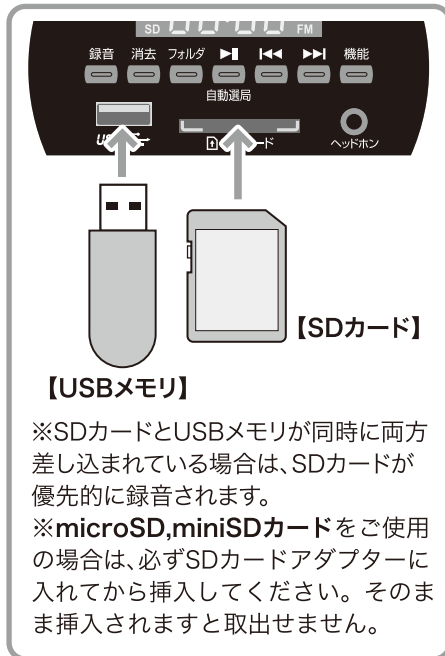
## メディアレコーダー

本製品はレコード盤とFMラジオの音声をSDカードまたはUSBメモリに録音出来ます。ここではSDカードに録音する手順を説明します。USBメモリに録音する場合は“SDカード”の部分“USBメモリ”に置き換えてください。



⑩液晶表示部 ①録音ボタン ②消去ボタン ⑦機能切替ボタン  
⑫USB差込口 ⑬SDカードスロット

- 本体前面の⑬SDカードスロットにSDカードを差し込みます。  
※SDカードにMP3ファイルが保存されていない場合、自動でラジオに切り替わります。保存されている場合は、自動で再生が始まります。
- 本体前面の⑦機能切替ボタンを押してレコードまたはラジオを選びます。
- 前項「●レコードを聴く」、「●FMラジオを聴く」の手順に従い、録音したいレコードを再生、またはラジオ局を選びます。
- 録音したいところで本体前面の①録音ボタンを押すと、録音が始まります。



【USBメモリ】

※SDカードとUSBメモリが同時に両方差し込まれている場合は、SDカードが優先的に録音されます。  
※microSD, miniSDカードをご使用の場合は、必ずSDカードアダプターに入れてから挿入してください。そのまま挿入されますと取出せません。

この時⑩液晶表示部の「REC」と「▶」が点灯、「SD」が点滅し、カウンターが動き、経過時間を表示します。

⑩液晶表示部：録音時



- 録音を終了する場合は、再度①録音ボタンを押します。  
録音が終了すると、機能が自動的にSDに切り替わり、録音されたファイルが再生されます。

⑩液晶表示部：消去時



※録音したファイルを削除したい場合は、②消去ボタンを押します。  
この操作は取り消せません。

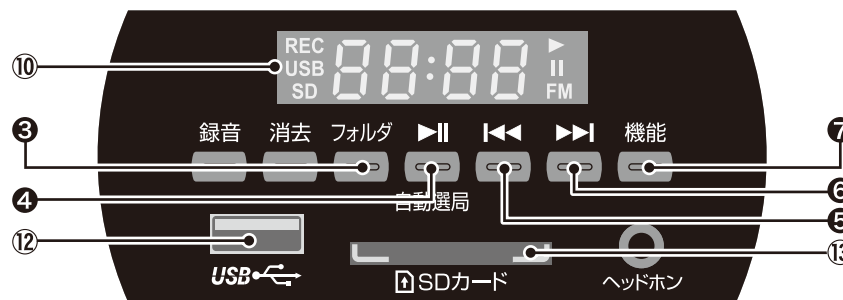
△⑩液晶表示部：SDカードロック時



△ 録音速度は等倍速です。 △ 録音フォーマットはMP3/128 kbps固定です。  
△ SDカードがロックされていると録音出来ません。録音時は必ずロックを解除してください。 △ 録音中はUSBメモリ、SDカードは取り出さないでください。

## MP3ファイルを聴く

本製品またはパソコン等で録音・保存されたSD/SDHCカードとUSBメモリ内のMP3ファイルを再生する事が出来ます。



⑩液晶表示部 ③フォルダ選択ボタン ④再生/一時停止ボタン  
⑤前スキップボタン ⑥次スキップボタン ⑦機能切替ボタン  
⑫USB差込口 ⑬SDカードスロット

## ●MP3ファイルを聴く

### ■再生する

- 1 MP3ファイルが録音・保存された各メディア、USBメモリを本体前面の⑫USB差込口に、またはSDカードを⑬SDカードスロットにそれぞれ差し込みます。
- 2 各メディアが読み込まれ、自動的に再生が始まります。この時⑩液晶表示部にファイル番号が表示された後、「USB」または「SD」が点滅し、「▶」が点灯、カウンターが動き経過時間を表示します。
- 3 ⑩音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 4 再生を停止する時は、④再生／一時停止ボタンを押します。この時⑩液晶表示部に「II」が点灯します。もう一度押すと再開します。

### ■共通のボタン操作

#### ⑤フォルダ選択ボタン

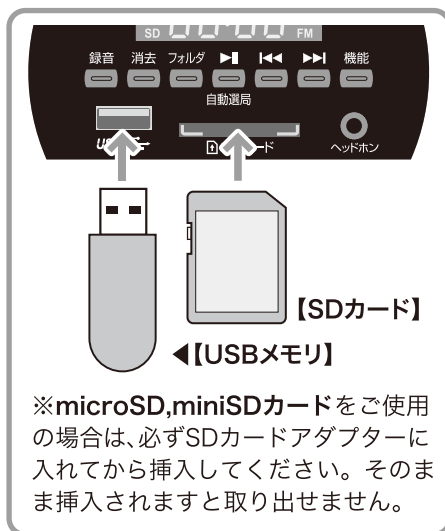
パソコン等で複数のフォルダが保存されたメディアの各フォルダを選びます。押すごとに次のフォルダに移動します。

#### ⑤前スキップボタン

再生／一時停止中に押すと、前のファイルに戻ります。また、長押しすると早戻しします。

#### ⑥次スキップボタン

再生／一時停止中に押すと、次のファイルに進みます。また、長押しすると早送りします。



※microSD, miniSDカードをご使用の場合は、必ずSDカードアダプターに入れてから挿入してください。そのまま挿入されますと取り出せません。

#### ⑩液晶表示部：読み込み時



#### ⑩液晶表示部：ファイル番号表示時



#### ⑩液晶表示部：例)USBメモリ再生時



#### ⑩液晶表示部：フォルダ番号表示時



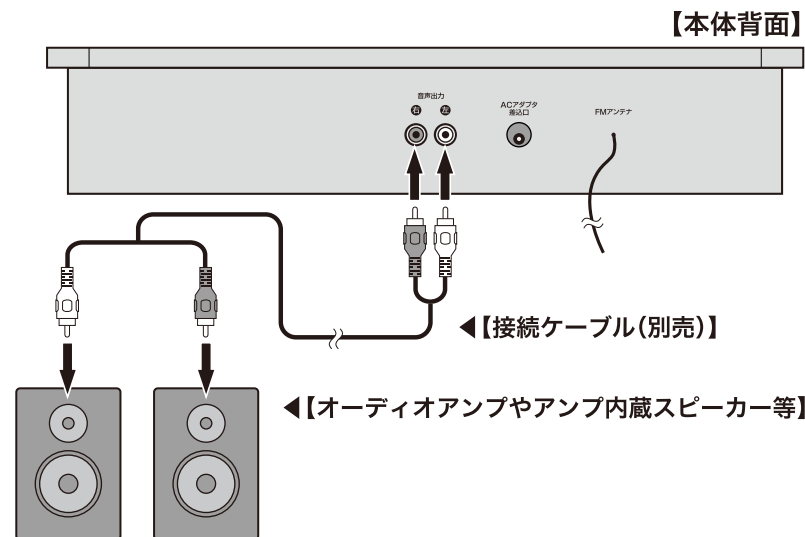
#### ⑦機能切替ボタン

USBメモリ、SDカードの同時差し込み時に押すと、それぞれが切り替わります。またレコード、ラジオにも切替られます。

## ●音声出力

### ■外部オーディオ機器から音声を出力する

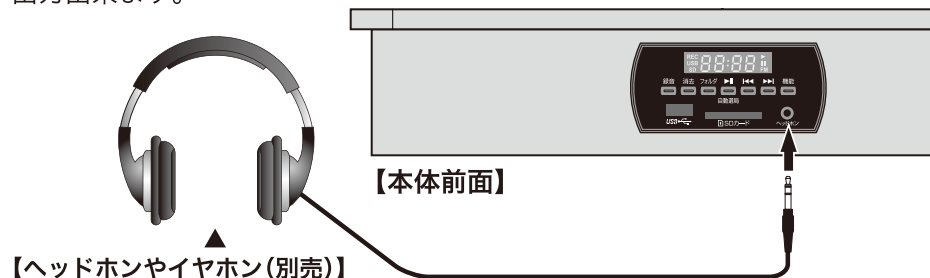
本製品では⑮音声出力端子にオーディオアンプやアンプ内蔵スピーカー等を接続し、音声を出力出来ます。



- △本機側端子の形式はRCAピン端子(ステレオ:赤/白)です。接続の際は別途ケーブルをお買い求めください。
- △接続した機器と内蔵スピーカーの選択は出来ません。接続した機器からのみ音声を聴きになりたい場合は、本機の音量を最小にしてください。
- △音量の調整は接続した機器側で行ってください。

### ■ヘッドホン／イヤホンから音声を出力する

本製品では⑭ヘッドホン出力端子にヘッドホンやイヤホンを接続し、音声を出力出来ます。



## ● お手入れについて

### ■ 本体のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると、印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。

### ■ 針のお手入れ

柔らかいブラシ、筆などで針先に付いたホコリやゴミを取り除いてください。指先で行うと針先を破損する原因となります。

### ■ 針の交換

レコード針は長時間の使用により摩耗します。その様な状態で再生すると、針飛び等が起こりレコード盤を傷付ける等の問題が発生する場合がございます。

本製品の場合、**約200時間**を目安に針を交換してください。

※使用条件によってはこれよりも短くなります。

#### 針の抜き方



①ヘッドシェルを持って、赤いカートリッジを矢印の方向へ下げます。



②前方へ引き抜きます。

#### 針の入れ方



①矢印の部位を合わせるように、斜め下からカートリッジを入れます。



②クリック感のあるところまで上に引き上げます。

### 交換用レコード針をお求めのお客様へ

破損や長期使用における経年劣化、紛失等の理由でレコード針をお求めのお客様のために「交換用レコード針」を販売しております。

お求めの際は下記までお問合せください。

【株式会社クマザキエム】 TEL : 045-473-0002

【直販サイト】 <http://www.bearmax.jp>

## ● 故障かな?と思ったら

お買上げの販売店等にご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。ご確認の上で、さらにご不明な点がある場合は、お買上げの販売店もしくは保証書にある発売元にお問い合わせください。

症状	対処方法
ターンテーブルが回転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACアダプタが正しく接続されているかご確認ください。</li> <li>・ 電源が入っているかご確認ください。</li> <li>・ 機能切替ボタンを押して、機能を「PH (レコード)」に合わせてください。</li> </ul>
音がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音量調整ノブで音量をあげてください。</li> <li>・ 他のオーディオ機器と接続している場合は、接続機器の音声入力をご確認ください。</li> </ul>
・ パチ、パチという雑音がでる ・ 音が飛ぶ ・ 音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レコード盤にホコリやゴミがついていたら、専用のクリーナーでお手入れしてください。</li> <li>・ レコード盤にソリやキズがないか確認してください。</li> <li>・ カートリッジの針先にゴミやホコリが付いていたら、やわらかいブラシなどでお手入れしてください。</li> <li>・ カートリッジの針先が磨耗していたら、針を交換してください。</li> <li>・ 本機を安定した台に設置してください。</li> <li>・ 針先が正しく固定されているか確認してください。</li> </ul>
ハウリングをおこす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スピーカーが振動に影響されないしっかりした場所の上に設置してください。</li> </ul>
・ ハム音がでる ※ブーンと言う音	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビなど他の電気製品から離してください。</li> <li>・ 他のオーディオ機器と接続されている場合は、音声用ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。</li> </ul>
・ 曲のテンポがおかしい ・ 音程がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回転数切替スイッチがレコード盤の回転数と合っているかご確認ください。</li> <li>・ 回転数切替つまみで調整してください。</li> </ul>
ラジオがよく受信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビ、ビデオ、衛星放送のチューナー、パソコンなどの電源が入っている場合は切ってみてください。</li> <li>・ アンテナの位置を動かしてみてください。</li> <li>・ 設置場所を変えてみてください。</li> </ul>

※他社の交換針をご使用になった場合の性能劣化や故障については、保証対象外となります。